

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所属	総務課	所属長	橋本健一
事業名	1000013	各種負担金及び補助事業		記入日	平成23年12月22日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)				
	中項目				
	小項目(施策)				
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令 等					
事業概要	各種団体に賛同し加入するにあたり、会員としてその団体への分担金を支出ものです。				

2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	
意図 (何を目指して いるのか)	
手段 (どのようなやり方で)	
成果 (どのような成果を 得るために)	

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	862	794	777	862
従事職員数	人				
人件費	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	862	794	777	862

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度	22年度		23年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
活動指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況		
これまでの見直しや 改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了→(平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	
行政運営において関連各種団体との連携をした活動に資する。		

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所属	建設課	所属長	斉藤孝
事業名	1000288	土木総務事務事業		記入日	平成24年1月19日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)	多様な都市活動を支える交通体系づくり			
	中項目	生活道路			
	小項目(施策)	主要生活道路網の整備計画			
区分	<input type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等					
事業概要	町道1-4号整備				

2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	町道の整備(拡幅・側溝・舗装補修)
意図 (何を目指しているのか)	生活道路の環境整備
手段 (どのようなやり方で)	道路の拡幅, 側溝の設置, 舗装のオーバーレイ
成果 (どのような成果を得るために)	生活道路の環境整備(安全性・利便性)

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	7,704	7,626	7,310	7,704
従事職員数	人				
人件費	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	7,704	7,626	7,310	7,704

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度		22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1							
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1							
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況		
これまでの見直しや 改善等の経過		
総合評価	<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止
[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所属	建設課	所属長	斉藤孝
事業名	1000309	用途地域設定事業		記入日	平成24年1月6日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)	調和ある発展のための基盤づくり			
	中項目	都市計画			
	小項目(施策)	都市計画マスタープランに基づく総合的なまちづくり			
区分	<input type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町都市計画マスタープラン				
事業概要	サカイモール(FISS地区)及び染谷工業団地(旭化成の拡張地区)の用途地域の変更及び市街化区域への編入に係る手続きの実施				

2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	サカイモール(13ha)及び旭化成拡張地区(1ha)
意図 (何を目指しているのか)	用途地域の変更と市街化区域への編入
手段 (どのようなやり方で)	茨城県の都市計画定期見直しに合わせて、各種法令手続き及び関係機関との協議等により行う
成果 (どのような成果を得るために)	境町都市計画マスタープランに位置づけされた事業の推進により、商業施設やサービス施設の立地拡大及び産業地の形成が図れる

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	#N/A	3,800	3,150	#N/A
従事職員数	人				
人件費	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	#N/A	3,800	3,150	#N/A

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度	22年度		23年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
活動指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡充又は重点化</td> <td><input type="checkbox"/> 手段等の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 効率化</td> <td><input type="checkbox"/> 簡素化・縮小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統合化</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小	<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善					
<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小						
<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他						
<input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
[今後の方向性についての具体的な考え方等]							

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所属	建設課	所属長	斉藤孝
事業名	1000330	河川維持管理事業		記入日	平成24年1月13日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)	快適な生活を支える環境づくり			
	中項目	河川			
	小項目(施策)	河川整備の促進			
区分	<input type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等					
事業概要	直営工事 染谷川水門観測・機場点検委託等 修繕等				

2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	市街地の浸水対策, 農地の湛水・道路の冠水対策, 自然環境を守る
意図 (何を目指しているのか)	洪水時に正確な情報を収集・把握し迅速に連絡できるシステムの整備及び水防体制の確立
手段 (どのようなやり方で)	各種法令手続き及び関係機関との協議等により行う
成果 (どのような成果を得るために)	災害等を最小限に抑えるため

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	7,273	8,256	7,138	7,273
従事職員数	人				
人件費	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	7,273	8,256	7,138	7,273

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度	22年度		23年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
活動指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡充又は重点化</td> <td><input type="checkbox"/> 手段等の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 効率化</td> <td><input type="checkbox"/> 簡素化・縮小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統合化</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小	<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善					
<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小						
<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他						
<input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
[今後の方向性についての具体的な考え方等]							

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所属	建設課	所属長	斉藤孝
事業名	1000331	染谷川改修事業		記入日	平成24年1月13日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)	快適な生活を支える環境づくり			
	中項目	河川			
	小項目(施策)	河川整備の促進			
区分	<input type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等					
事業概要	用地費及び補償 測量 河川改修工事				

2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	準用河川染谷川の河川改修
意図 (何を目指しているのか)	住宅地の浸水対策, 農地の湛水・道路の冠水対策, 自然環境を守る
手段 (どのようなやり方で)	国の補助金1/3, 各種法令手続き及び関係機関との協議等により行う
成果 (どのような成果を得るために)	住宅地の浸水対策, 農地の湛水・道路の冠水対策, 自然環境を守る

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	20,000	21,800	12,906	20,000
従事職員数	人				
人件費	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	20,000	21,800	12,906	20,000

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度	22年度		23年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
活動指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況		
これまでの見直しや 改善等の経過		
総合評価		<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続							
	<input type="radio"/> 見直しの上で継続	→ <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡充又は重点化</td> <td><input type="checkbox"/> 手段等の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 効率化</td> <td><input type="checkbox"/> 簡素化・縮小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統合化</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小	<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化	<input type="checkbox"/> 手段等の改善						
	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 簡素化・縮小						
	<input type="checkbox"/> 統合化	<input type="checkbox"/> その他						
	<input type="radio"/> 終期の設定							
<input type="radio"/> 終了	→ (平成23年度に終了予定)							
<input type="radio"/> 休止								
<input type="radio"/> 廃止								
[今後の方向性についての具体的な考え方等]								
河川の沿線の開発や埋め立てにより浸水対策が望まれているので、早期の工事着手								

事務事業評価シート

[平成22年度事後評価]

1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号		所 属	財務課	所属長	島根行雄
事業名	1000328	住宅維持管理事業		記入日	平成23年12月22日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	活力とゆとりのある生活をめざすまちづくり			
	大項目(節)	快適な生活を支える環境づくり			
	中項目	住宅			
	小項目(施策)	町営住宅の維持管理			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	公営住宅法 境町営住宅管理条例 境町営住宅管理条例施行規則 境町高齢者用住宅管理規則				
事業概要	公的賃貸住宅としての町営住宅の維持管理				

2. 事務事業の目的 (DO)

対 象 (誰を何を対象として)	町内に在住または勤務先を町内に有する住宅に困窮する定額所得者
意 図 (何を目指しているのか)	町民生活の安定と社会福祉の増進
手 段 (どのようなやり方で)	上記住宅困窮者に低廉な家賃で、町営住宅を賃貸する。
成 果 (どのような成果を得るために)	住宅におけるセーフティーネットとして、居住の安定を図る。

3. 経費 (DO)

	単位	21年度	22年度		23年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	14,718	23,382	22,135	14,718
従事職員数	人	0.8	0.8	0.8	0.8
人件費	千円	5,600	5,600	5,600	5,600
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	20,318	28,982	27,735	20,318

1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	21年度	22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	管理戸数	戸	165	165	165	165
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	敷地内立木の剪定	回	12	12	12	12
	指標2	滞納整理	日	36	36	36	36
	指標3						
成果指標	指標1	入居世帯数	戸	160	164	156	164
	指標2	新規提供戸数	戸	5		11	7
	指標3	使用料の滞納繰越額	円	11,323,900	9,500,000	9,964,250	8,500,000

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	町営住宅は、セイフティーネットとして住宅を供給してきたが、昨今の経済情勢と、少子・高齢化など社会的要因の多様化により、住宅需要と住宅の質への要求が高まっている。また、入居の長期化により住宅ストックとして硬直化する傾向にある。	
これまでの見直しや 改善等の経過	建設後20年程度を経過した住棟が多数を占めるため、修繕料が高額になっているが、国の社会資本整備総合交付金等を活用し、屋根の防水工事を実施するなど、適切に維持管理を図った。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等] 耐震基準改正前に建設された住棟や、耐用年数を超えた住棟があるため、耐震診断の実施等を検討しつつ、今後の方向性を検討する必要がある。	